

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

臨床研究名称： Philadelphia 染色体陽性急性リンパ性芽球性白血病における再発リスク因子としての CD20 陽性の意義を検討する多施設共同研究：東北血液フォーラム共同研究 29

研究の目的

フィラデルフィア (Ph) 染色体陰性の B 細胞性急性リンパ芽球性白血病(ALL)において、白血病細胞における CD20 の陽性が再発リスクとなり、長期予後を悪化させることが知られています。しかし、Ph 陽性 ALL (Ph+ALL) においては、CD20 が及ぼす影響が明らかになっていません。そこで私たちは Ph+ALL の方の臨床情報（年齢、性別、疾患、治療経過など）を分析することにより、CD20 陽性の有無が治療効果や再発、長期予後に及ぼす影響を明らかにすることを目指しています。

研究実施期間： 研究実施許可日 ~ 2028 年 3 月 31 日

対象となる方： 2010 年 1 月から 2020 年 12 月までに本院に来院し、Ph+ALL の診断で（イマチニブ、ダサチニブ、ポナチニブを含む）TKI 併用療法を受けた 20 歳以上の方

利用させていただきたい試料・情報について

（他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む）

本研究では東北地方の医療機関で診断された CD20 陽性 Ph+ALL 患者さん、および比較対象として CD20 陰性 Ph+ALL 患者さんに関する臨床所見、検査結果、治療効果について診療記録を用いて調査を行います。本研究への参加にあたり新たに検査を行うことはありません。利用する情報としては以下の通りです。患者さんに関する情報：年齢、性別、全身状態等、診断に関する情報：診断日、先行疾患の有無、血液・骨髄検査の結果、腫瘍細胞のマーカー等、治療に関する情報：治療内容、治療効果、治療経過、生存に関する情報。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して（これを匿名化といいます）、行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

なお利用する情報は研究代表機関である秋田大学に提供させていただきます。秋田大学の研究代表者等の氏名、連絡先は以下の通りです。

研究代表者：高橋 直人（秋田大学医学部血液・腎臓・膠原病内科学講座 教授）

本課題に関する問い合わせ先：

秋田大学医学部 血液・腎臓・膠原病内科学講座

〒010-8543 秋田県秋田市本道一丁目 1 番 1 号 TEL : 018-884-6116

担当者氏名 : 山下 鷹也

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん/その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承ください。

本件連絡先	弘前大学医学部附属病院消化器・血液・膠原病内科・助教 立田 卓登 TEL : 0172-39-5053 Mail : tachita@hirosaki-u.ac.jp
-------	---